

物遊びのすすめ ~進化の隣人チンパンジーからみたヒトの子ども~

子どもは手を使っていろいろな物遊びをします。手で物をつかめるのは、ヒトも含めた霊長類と呼ばれるサル仲間と共通する特徴です。おもに樹上でくらす生活の中で、枝をつかめる器用な手が進化しました。

地球上の生物で一番ヒトに近いチンパンジーも、手を使って物遊びをします。チンパンジーと比べるなんて?!と思われるかもしれませんが、ヒトの特徴とは何かを探るため、「心の進化」をキーワードに研究が進んでいます。チンパンジーは、積木をつむ・カップをかさねるなど少し難しい課題でも真剣な顔で取り組みます。基本的にチンパンジーは、物をあつかう能力ではヒトの子どもに引けをとりません。

では、何がチンパンジーとヒトの違いをうむのでしょうか。チンパンジーのお母さんは、子どもが物で遊んでいるとき、積極的に子どもをほめたり、教えたりすることはありません。子どものほうがおとなのすることに自発的に興味をもって、地道に時間をかけて学んでいきます。

ヒトの場合、のんびり見守りつつも、ときには周りのおとなが積極的に子どもにかかわり、ガラガラを手にもたせようとしたり、積木をつんだらほめたりします。そういうやりとりの中で、子どもの力がどんどん伸びていくようです。



おもちゃで遊んでもらうやりとりこそが、子どもにとっては楽しい学びの場となるのかもしれないね。



お料理レシピ ● No.2 重ね煮のアレンジ3種

重ね煮/船越康弘・船越かおり『わらのごはん』地湧社より

レシピ提供  
●親子ナチュラルクッキング・サークル  
月一回土曜に活動しています。  
問合せ先 tel.090-2351-4760 中島  
oyakonaturalcooking@yahoo.co.jp



炒り豆腐

材料 木綿豆腐 一丁、ごま油 適量、ネギ 適量、しょうゆ 大さじ1  
作り方 ①豆腐をしっかり水切りする。(厚さが半分になるまで)  
②ネギを小口切りする。  
③水切りした豆腐をよくつぶす。  
④フライパンに油を熱し豆腐を炒め水分をとばす。  
⑤重ね煮を入れネギを加えしょうゆで味付ける。



重ね煮

材料 しいたけ、たまねぎ、にんじん、塩  
作り方 材料を揃えて千切りにして、この順番に鍋に並べる。一番上に塩を振り、「おいしくなーれ」と愛を振り入れて、ふたをして弱火で煮る。野菜のにおいがしてきたら出来上がり。



ダシいらすのお味噌汁

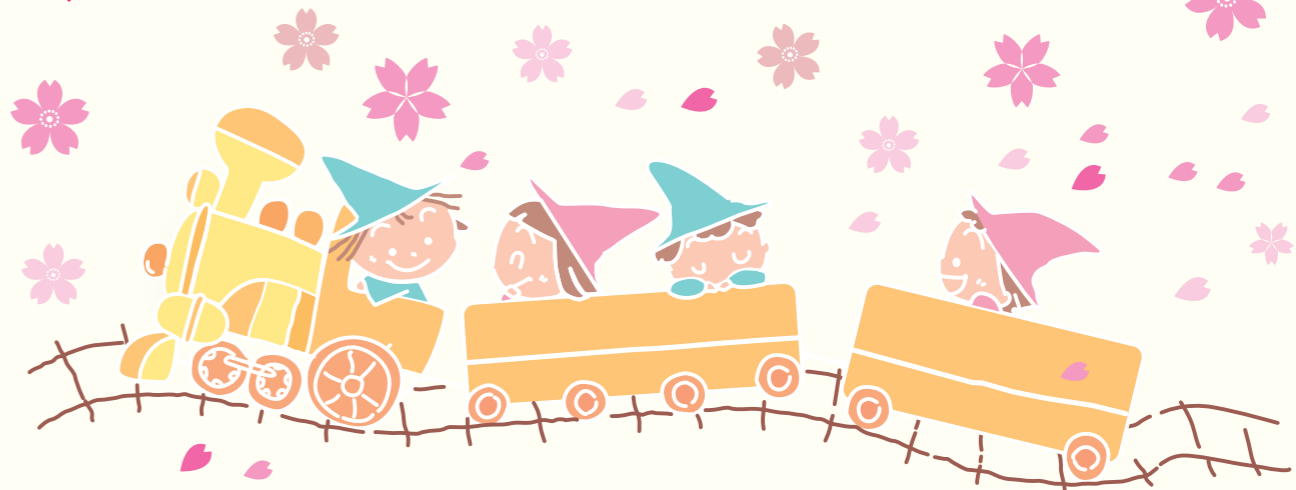
材料 みそ  
作り方 鍋に水を沸かし重ね煮を入れ味噌をとく。



スパゲッティサラダ

材料 スパゲッティ 60g、いんげん 120g A/練りごま 大さじ1 梅酢 大さじ1(梅酢は塩漬けた梅の実から出た汁) しょうゆ 小さじ2  
作り方 ①スパゲッティを1/2の長さに折ってからゆでる。  
②いんげんを蒸すかゆでて斜め切りする。  
③Aの調味料を合わせる。  
④ボウルに重ね煮・そばを入れてAを加え塩で味をととのえる。

うみかぜだより 2009.2.20 第1号



こんにちは!  
「うみかぜだより」です♪♪♪

2008年12月に創刊された「うみかぜだより」。おかげさまで創刊号につづき、このたび第1号の刊行を迎えました。今後も隔月での刊行を予定していますのでお楽しみに♪  
「うみかぜだより」の献立は、その時期の旬をとらえるべく毎月変わっていきますが、基本的には次のコーナーを予定しています。

- ゆったりと子育てしよう
- 子どもと遊ぼう
- 世界の子育て
- へえ?!な話
- お料理レシピ

「ゆったりと子育てしよう」コーナーでは、「気負わなくても大丈夫!」という思いを込めて、子育てに役立つような専門情報を提供していきます。今号は、赤ちゃんは大人の反応に敏感です!というお話。うまく言葉を話すことのできない赤ちゃんたち。でもきちんと見て感じている、恐るべき存在なのです。

「子どもと遊ぼう」コーナーでは、手軽にできる子どもとの遊びをご紹介します。毎日子どもと顔をつき合わせ

ていると、「もっといっぱい遊びたい!」と思っても、今さら更は何をすればよいのか悩むことも。肌と肌を合わせたスキンシップにも役立つ遊びをご紹介しますので、ぜひお試しあれ。

「世界の子育て」コーナーでは、世界各地の子育ての様子をご紹介します。世界中のいたるところで子育てはおこなわれているけれど、その様子は各地でさまざま。今号では、前号のフィンランドにつづきオランダを取り上げています。オランダは今、子どもが世界一幸せな国として注目されているとかいったことなのではないでしょうか?

「へえ?!な話」コーナーでは、食事や遊びなど、身近なトピックにまつわるちょっと科学な話をご紹介します。

今回のお題は「物遊びのすすめ」です。お料理レシピでは、忙しい家事の助っ人になりそうなレシピをご紹介します。今号は前号でご紹介した重ね煮レシピのアレンジ編です。

このように、「うみかぜだより」には、子育てに関わる話題をたくさん盛り込んでお伝えしていきます。今後ともお付き合いのほど、よろしくお願いいたします♪

お知らせ

3月13日(金) ミニ学習会

子育てに関する交流会を交流センター2F研修室7・8(13:30~15:00)で、2ヶ月に1回実施しています。前回は、家族との関係、病院やすり、子育て事情を中心に情報交流を行ないました。今回も、子育てのさまざまな情報について交流したいと思います。みなさん、お気軽にご参加ください。

連絡先/子育て応援ラボ「うみかぜ」●tel.090-7343-2405●E-mail usp-umikaze@nifty.com●URL http://umikaze.sub.jp/

3月27日(金) インファンクラブ演奏会

滋賀県立大学の吹奏学部による演奏会を交流センター1F研修室1~3(11:00~11:30)で行ないます。さまざまな音のする楽器を見たり、生の演奏に触れる機会になります。子どもたちも思わず歌ってしまいたくなるような曲を演奏予定です。みなさん、お誘い合わせのうえ、是非ご参加ください。

うみかぜだより 第1号

発行 子育て応援ラボ「うみかぜ」(竹下秀子研究室) 彦根市八坂町2500 滋賀県立大学人間文化学部 tel.090-7343-2405 fax 0749-26-7235  
編集 上野有理・竹下秀子・林美里・広田幸子・丸澤由美子

赤ちゃんは  
まわりのおとなからの呼びかけやかかわりに  
応える能力を持っています。

- 赤ちゃんはおとなの顔が大好きで、おとなの顔を見分け、表情をまねし、声を聞き分け、自分も同じ事をしようとします。
- おとなが笑いかけると赤ちゃんも笑います。
- 赤ちゃんはおとなの視線をたどって、おとなが何を見て、どのような感情を抱き、どんなふうに話したか、わかるようになります。
- おっぱいやミルクをやるとき、目を合わせると赤ちゃんも目を合わせて見つめます。



赤ちゃんは  
自分からまわりのおとなに  
働きかける力も持っています。

- 泣く
- 笑う
- 声を上げる
- 見つめる

いろんなサインを送って、おとなのかかわりを引き出します。でも、まわりにいるおとなが適切に反応してくれないと、赤ちゃんは働きかけるのをやめてしまいます。

好奇心いっぱいの赤ちゃんが、まわりのおとなと働きかけあい、応答しあうことを何度も繰り返すことによって、やがて赤ちゃんは他人の気持ちを感じとることが少しずつできるようになってきます。

相手と自分は同じものを見ているのだ、同じ事を心に描いているのだと感ずることができるようになるのです。

これは、人とかかわるための心やコミュニケーションの基礎となります。こうしたことに支えられて言葉を話すようになっていきます。

「たかい、たかーい」という声が聞こえると、上にあげてくれることだとわかります。



まわりのおとなと赤ちゃんとが、日々、働きかけあい応答しあうことを2歳ごろまで続けていると、人とつながる力や共感する力、つまり人間関係をつくる能力が育ってきて、社会で生きていく力の基礎となるのです。

目と目を合わせる、肌と肌を合わせることが大切だとよく言われていますが、その意味はこういうことなのですね。

手遊び

♪♪ だんごだんご 作者不詳 ♪

だ〜んご だんご くっついた  
あ〜あとれない なかなかとれない  
う〜ん ぼん あ〜 よかったね



1 「だ〜んごだんご」で両手をグーに。これが「だんご」になります。



2 「くっついた」でお子さんのホッペに手をくっつける。「あ〜あとれない なかなかとれない」で、ホッペの手でお子さんの顔を「とれな〜い」とゆらす。



3 「う〜ん ぼん」でホッペの手はずす。「あ〜よかったね」でバチバチ手をたたく。

「うみかせ」主催の子育てサークル・インファンクラブでも人気の手遊びです。「あ〜あとれない なかなかとれない」でホッペにだんご(手)がくっつくと、「どうしよう…」と困り顔の子どもたち。でも、「う〜ん ぼん」で手(だんご)が離れるとホッとした表情に。「あ〜 よかったね」でニコニコしたり、声を出して笑っています。

子どもを前に寝かせ、向き合いながら、遊ぶのもいいですね。ホッペ以外にも、おなか、あたま、おしりにだんごをくっつけても楽しいですよ♪

「おとなと同じことをしたい!」という気持ちが育まれる10ヶ月頃には、お互いのホッペや頭などさまざまなところにだんごをくっつけあって遊ぶのも面白いでしょう。

3~4月はお花見シーズン。お子さんと一緒にお花見をしながら、ゆったりとしたリズムの手遊びをぜひお楽しみください。



世界の子育て

ーオランダー

運河、風車、見渡すかぎりのチューリップ畑といえば、オランダ。そのオランダが、子どもが世界一幸せな国ということ注目されています。オランダではどのような子育てが行われているのでしょうか? 『ニューズウィーク日本版』(2008.12.10)、『オランダの教育』(リヒテルズ直子・著、平凡社)から紹介します。

オランダの特徴

- ・ ワークシエリングが進んでおり、国民の3割以上がパートタイム労働で、家庭での親子の団欒を大切にしている。
- ・ 子どもたちにとっぴり睡眠や休養をとらせて、静かで穏やかな雰囲気の中で育てることを大切にしている。
- ・ 学校法憲法23条は、学校設立にあたっての宗教や信条の自由を保障し、公立校と私立校との間に政府補助金の差を認めない。また、小学校は公私とも無料である。
- ・ 公立校と、独自の教育方針を持つさまざまな私立校があり、子どもに適した学校を親が自由に選ぶ。
- ・ 子どもが自分の条件に合わせて学べるように、飛び級や落第もある。

オランダの学び方は?

「すべて教えて、最終的には個人の判断に任せるべきだ」

オランダでは、小学校のときに、個人や社会について学び、人間関係にかかわる価値観や道徳、性のあり方や避妊、麻薬、エイズについて学ぶ。

すべての教育が、一人ひとりの子どもが、他人と社会関係を結ぶ能力を身につけ、自分の能力を発見し、将来、自分に最もふさわしい社会的な位置(職業)を得るためのプロセスとなっている。

オランダの子どもたちは、学校が大好きで、友人や家族とも仲良しで、何より子どもたち自身が「幸せ」と答えています。そんな子どもたちが、オランダを愛し、将来、オランダの社会を大切に、安定させていくのだらうなと思いました。

